

利根保健生協 2019年5月現勢
生協組合員……………28,687人
出資金額……………1,626,053,000円
平均出資金額……………56,683円
理事30名 監事4名 総代210名 班長1,480名
*5月の新規加入組合員数は、99人でした。

利根の保健

発行人 糸賀俊一 編集 「利根の保健」編集委員会
発行部数 21,770 印刷 有限会社コトブキ印刷

利根保健生活協同組合
〒378-0053 沼田市東原新町1861番地1
☎0278(22)6060 FAX(22)6262

利根中央病院 沼田市沼須町 ☎(22)4321
片品診療所 片品村鎌田 ☎(58)3910
利根中央診療所 沼田市西原新町 ☎(24)1202
利根歯科診療所 沼田市高橋場町 ☎(24)9418
生協みなかみ歯科 みなかみ町後閑 ☎(25)3399
介護老人保健施設とね 沼田市東原新町 ☎(22)8855
サニーマーケットひまわり 沼田市高橋場町 ☎(22)3223



模範活動表彰支部代表者

総代会表彰

生協の表彰規程に基づき、2018年度優秀活動支部・班、他の模範となる活動を表彰しました。

支部表彰

【組合員ふやし】
昭和南、白沢、昭和東、薄根、沼田東

【班会開催】
片品、利南、月夜野東、沼田東、薄根、沼田西、白沢、利根北

【担い手づくり】
月夜野東、利南、昭和南

班表彰

【班会の部】
ときめき、上久屋馬場、井土上町合同、月夜野いきいきサロン、猿ヶ京合同、須川合同、入原合同、中山判形合同

【サークル活動】
健康卓球クラブ(卓球) 健康卓球教室 「ゆうゆう」(卓球) いこい句会(俳句会) 追員12会(福老体操)

模範活動表彰

地域訪問件数の年間総合計が、前年度比で150%を超えた支部
沼田中・沼田南・沼田北・白沢・川田・月夜野西・須川

支部運営委員会のみなさん、多くの班長が地域訪問に参加し、さらに職場と密に連携して、出資者割合40%を超えた支部
月夜野東

第43回 通常総代会

利根保健生協の理念と3カ年計画の実践を

第43回通常総代会が6月22日(土)、ホテルペラヴィータで開催されました。2018年度まとめと2019年度方針・予算決定、利根保健生協の理念など7議案のすべてが賛成多数で採択されました。また、総代会スローガンが「あわせて承認されました。役員の変更も行われ、第一回理事会にて糸賀俊一理事長、原田富夫副理事長、原澤裕専務理事、山田晃章常務理事をはじめ新役員体制が互選されました。

総代209人(うち実出席126人、書面議決71人)、秀夫両総代の議長で進行され、職員等を含め全体で約300人、来賓の横山公一沼田市長と群馬県生活協同組合連合会の中村隆夫会長、とね虹の会の青木忠昭理事長から連帯と激励のご挨拶をいただきました。

3カ年計画の実践の年

片山忍専務理事より第1号議案(2018年度のまとめ・決算)が提案されました。2018年度は医療・介護報酬改定のなか、利用結果に基づき過去最高の事業収益が確保できたこと、新規事業として沼田市委託の「病児保育室くるみ」の開所、組合員活動では「みんなの食堂にぎわい広場」「助け合い活動」がスタートし地域貢献ができたことなどの特徴が報告されました。

原澤裕常任理事から2019年度方針(6つの議案)がそれぞれ提案されました。第3号議案では、当生協の設立趣意書や医療福祉生協の理念などをもとにした新たな利根保健生協の理念「健康をつくる。平和をつくる。こころ豊かなまちをつくる」が承認されました。3カ年計画である「あつて良かった利根保健生協」を実践していきましよう」と提起されました。

議案を深めた 全体討議

議案提案を受けて11人から意見や発言がありました。

飯田武一総代(沼田南)は、病院経営の厳しい現状のなか、引き続き経営について努力してもらいたい。理念の実践が組合員一人ひとりのものになるような運動や学習会などを要望する。

吉江高志総代(利南)は、SDGsのなかのエネルギー問題について生協事業所での太陽光パネルの設置でエネルギーの地産地消を要望する発言。

滝四郎総代(薄根)は、南西部ブロック研修旅行として、助け合い活動がすすんでいる東信医療生協の見学報告。

林誠行総代(猿ヶ京、助け合い活動コーディネーター)は、助け合い活動の進捗報告と協力者登録の呼びかけ。

諸田きみ代総代(昭和南)は、毎週1回行っている筋力トレーニングのうちの月1回を入原合同班会として健康増進をはかっている報告。

藤井エミ子総代(白沢)は、白沢支部と連携職場で協力し大きな成果につながった地域訪問について報告。

持田宗武総代(昭和南)

春の叙勲 瑞宝双光章 金子れい子さん

(看護業務功勞)

受章

昭和51年に利根中央病院に看護師として入職。群馬がん看護研究会理事や群馬県看護師長協議会会長などを歴任されました。

看護師不足は永遠の課題で各方面から実習受け入れを行ってきたこと、利根中央病院の医師不足のなかでは、看護部の中心となり力を合わせて乗りきることを経験されました。

「これまで支えてくれた仲間や家族への感謝のおもい。また、地元の高齢化を実感しており、玄関ボランティアなどを通じて、皆さんに恩返ししていきたい」との感想がよせられました。

元利根保健生協 統括看護部長

は、「福島被災地視察」によりメディアでは報道されない復興がすすんでいない生々しい状況が報告。

職員からはACP(人生会議)・分娩の状況・医師確保のとりくみ・無料低額診療事業について議案を補足する発言がありました。

これらを受けて原澤常任理事から以下の内容で理事会を答弁がされました。

「当日発言2件ふくめ11件の内容は賛成や補強の立場での発言ととらえた。経営課題では事業所計画や予算計画を文字通り実践することが大切である。SDGsでは、貧困対策や平和の視点など当生協では日常的にとりくんでいるものもある。エネルギー問題ふくめ皆さんの日常でも考えていきたいと思います。当生協の事業が安心のよりどころになり、新たな理念「健康をつくる。平和をつくる。こころ豊かなまちをつくる」を全ての組合員が実感できる活動を広げましよう」とまとめました。

第7回 きらめき祭 (新病院4周年記念)

日時 8月25日(日) 10時~15時 ※雨天決行

会場 利根中央病院 多くの方のご来場をお待ちしております

催し ヒーローショー、梅干しの種とばし大会、サイエンスショー、糖尿病教室、職員出店等

2018年度のまとめと

2018年度テーマ

「つながる」「つなげる」を広げ、地域のニーズと組合員の要望を受け止め、求められる役割と機能を発揮し、事業と運動を発展させます。

2018年度全体のまとめ

昨年第42回総代会で3カ年計画が承認されました。3カ年計画のビジョンを「あって良かった利根保健生協」として、誰からも、どこからも、「あって良かった」と思われる事業と運動を発展させることを確認しました。事業においては病児保育室くろみ開設、グループ法人である社会福祉法人とね虹の会による特別養護老人ホーム「とね虹の里」の開設、そして経営状況は大きく改善しました。組合員の活動においては、子ども食堂「みんなの食堂にぎわい広場」開所、組合員同士の「助け合い活動」が開始し、地域の困った探しもあわせて地域訪問活動はこれまでにない件数の訪問となりました。2018年度は組合員と職員が「ともに」、事業と運動をより大きく強く発展させた年となりました。

〈3カ年計画ビジョン〉

『あって良かった利根保健生協』

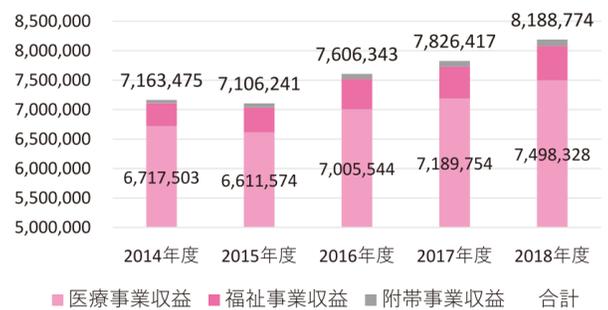
- ・地域住民のどの世代からも、医療・介護・福祉事業者からも、行政からも、関係団体や企業からも、そして組合員・職員からも「あって良かった」と思える事業と運動を前進させる。
- ・利根保健生協の事業と運動が、誰でも知っている、何かあったらすぐに頼れる、何かなくても暮らしに存在する、そんなあらゆる角度から見ても「あって良かった」と思えるものにする。

とね虹の里

病児保育室くろみ



・事業収益は過去最高の81億8,877万円となりました。(単位:千円)



・経常剰余金は大きく改善しました。(単位:千円)



利根中央病院の特徴

・2018年度の医師臨床初期研修(定員各6人)は、12人(1年目6人、2年目6人)を受け入れました。2019年度も6人が開始となります。

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
医師数	34人	39人	41人	40人	44人
研修医数	2人	3人	5人	10人	12人

・分娩数は2年連続で300件を超えました。

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
分娩数	171件	184件	274件	305件	352件

・救急搬入数は利根沼田広域圏の44.3%を受け入れました。

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
救急搬入	1,863件	2,043件	2,064件	2,184件	2,136件

・医師体制の強化により、消化器検査の単位増やERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)検査の再開、皮膚科の外来単位増や手術再開等、提供できる医療サービスが改善しました。

利根中央診療所では、内科診療枠の増加や整形外科外来の開設など、地域のかかりつけ医としての役割強化がすすみました。

利根歯科診療所では、歯科医師臨床研修施設として単独型1人、新潟大学協力型2人を受け入れました。

生協みなかみ歯科では、2018年10月より、利根中央病院、利根歯科診療所に続き、無料低額診療事業を開始しました。

病児保育室くろみは、沼田市の委託事業として、延べ140人の利用がありました。

【対象児童】 乳幼児および小学生 **【利用料】** 沼田市在住者2,000円
・群馬県いきいきGカンパニーのゴールド認証を受けました。

健康づくり活動 の分野では、小学校12校で「手洗いのプロが教えます!手洗い教室」を実施しました。また、「キッズけんこうチャレンジ」は小学校16校でとりくまれました。



組合員活動 の分野では、今年度初めて「つながりづくり月間」にとりくみました。新たなつながりやこれまでのつながりを更に深めたことで、7年連続で1億円を超える出資金となりました。

- 出資金累計: 16億2,922万円
- 地域訪問件数: 5,723件(前年度4,763件)

平和・社会保障 の分野では、震災から7年経過し福島の実状を実際に視て感じて学習する、福島震災支援視察が34人参加で行われました。

まちづくり の分野では、子どもを中心とした「みんなの食堂にぎわい広場」が開設しました。また、お互いさまのまちづくりを目指した「組合員助け合い活動」が開始しました。



2019年度 活動方針

2019年度のテーマ

3カ年計画の実践の年。組合員・職員とともに、つながる・つなげるを広げ、質の高い事業と楽しい運動で、地域のくらしをささえます。

2019年は3カ年計画実践の年と位置付け、私たちの使命として新たに策定する「利根保健生協の理念」、組織部の「生協くらしサポートセンター」への名称変更、これらを力に事業と運動をより一層、組合員の「くらしの視点」で発展させることが大きな課題です。

第43回通常総代会スローガン

1. 生協くらしサポートセンターの役割を共有し、組合員同士の助け合い活動をひろげます。
1. 生協本部周辺の事業計画をすすめ、市街地におけるまちづくりに貢献します。
1. 高齢者や子どもなどすべての人が支え合えるよう、多世代が交流できる環境をつくります。
1. 組合員の利用結集と事業の質の向上で、全事業所が予算達成します。

【主な事業計画】

- ・とね虹の会を含めた利根保健生協グループ間での事業所間連携の強化。
- ・地域における「くらしの安全弁」としての事業計画を具体化します。
- ・病院と診療所の外来機能を地域のニーズに合わせ機能分化します。
- ・通院支援事業のさらなる拡充をめざします。
- ・法人のBCP(事業継続計画)整備をすすめます。
- ・生協本部周辺の事業計画をすすめます。
- 旧利根中央病院附属棟を解体し、生協本部第2駐車場等と合せて、まちづくりに貢献できる事業を推進します。

2019年度の主要課題スケジュール

- 6月・7月 教育学習月間
- 8月・9月 つながりづくり月間
- 10月・11月 生協強化月間

- ・くらしの支援としての学習運動をすすめます。
 - SDGs(持続可能な開発目標)
 - ACP(人生会議)
- 〔ACP:アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)とは、もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有することです。〕
- ・お互いさまのまちづくり、「助け合い活動」を推進します。『時には助けて、時には助けられて』
- お問い合わせ: 生協くらしサポートセンター TEL: 0278-22-2300

〈生協くらしサポートセンター役割〉つながる・つなげるのコーディネーターです。



利根保健生協の理念

第43回総代会において、利根保健生協の理念が承認されました。

『健康をつくる。平和をつくる。こころ豊かなまちをつくる。』

—そのために—

私たちは、組合員・地域住民と医療や福祉の専門家が協同する組織です。「あって良かった利根保健生協」を目指し、事業と運動を発展させ、「つながる・つなげる」を合言葉に、多くの人たちと手をむすび、健康で豊かなまちづくりをすすめます。

1. 安全で質の高い医療・介護・福祉と保健予防サービスを提供します。
2. 全世代が参加できる、地域まるごと健康づくりにとりくみます。
3. いのちを脅かす戦争に反対し、憲法をまもり、平和と人権を大切にします。
4. 未来を担う子どもたちが健やかに成長できる地域づくりに貢献します。
5. 一人ひとりを大切に、安心してらせるまちづくりをすすめます。
6. 地球環境保全のために、自然を守り、エネルギーを大切にします。

【活動方針】

利根中央病院

「利用して良かったと思える病院へ」

- ・患者主体の医療提供、待遇改善の徹底、患者満足度の向上に努めます。
- ・外来機能のあり方について方針策定。予防健診事業の拡充。

利根中央診療所: 1診体制日を2診稼働への診療体制拡充
地域のかかりつけ医としての役割強化、訪問診療を積極的に展開。

片品診療所: 地域包括ケアシステム構築のために片品村と協力

利根歯科診療所: 安心・安全・信頼の歯科医療の追求
臨床研修施設として管理型2人の受け入れ他事業所と連携して総合的に支援オーラルフレイルの予防を広めます。

生協みなかみ歯科: 組合員の健康を守るとりくみを継続

とね在宅総合センター: 利用者が「良かった」と思える質の向上
他事業所との連携強化。短時間通所リハビリの定員数を増やします。

健康づくり活動: 「健康寿命の延伸 フレイル対策3つの柱」

- 社会参加(でかける)…生協活動への参加よびかけ
 - 身体活動(運動する)…定期的な運動のよびかけ
 - 栄養(食べる)………あいうべ体操などのよびかけ
- 群馬県生協連としてとりくむ「ぐんままるごと健康チャレンジ」に、多くの地域住民の参加を呼びかけます。

組合員活動: 支部と班、組合員がつながることを重点課題
「つながりづくり月間」にとりくみ新しいつながりづくりから担い手づくりへと広がります。機関紙の未配布班解消をめざします。

平和・社会保障活動: 平和を守る活動を様々な団体と協力
子どもや高齢者の貧困問題を全世代へ知らせます。

まちづくり活動: 地域での助け合い活動を身近なとりくみに
誰でも参加可能な多世代交流型の居場所づくりの具体化。

ボランティア活動: 活動領域や内容の変化に合わせた担い手を養成



